

特集

He for He

—男から男へと伝えたい

フェミニニズム—

コラム

ライター、編集者、翻訳者

杉山 大悟 さん



り
ぶ
る

さっ
ぽろ

He For He

—男から男へと伝えたいフェミニズム—

国連女性機関（UN Women）が、女性に対するあらゆる暴力や差別をなくし、ジェンダー平等の実現を男性とともに進める運動「He For She」。2014年に国連事務総長とエマ・ワトソンUN Women 親善大使により発表されて以来、世界中の多くの人々が賛同しています。一方で、ジェンダー平等、フェミニズム等を、「女性の側の問題」と人ごとのように感じている男性がまだまだ多いことも事実。だからこそ「男性側が声を上げ、世界を変えていく必要」を伝えたい。男から男へと伝えたいフェミニズム。
“He For He”

They think about a gender.



Dさん

30代。今回の座談会のファシリテーター。ジェンダーの仕事に携わった経験のある4歳の息子の父。



Aさん

20代。学習ボランティアを行う大学生4年生。



Cさん

20代。学生時代にジェンダーを学んだ社会人1年生。パートナーは学生。



Bさん

40代。小学5年生の娘の父。大手企業の管理職で単身赴任中。

座談会

サツダン 札幌男子、 ジェンダーについて 考える

札幌で生活する、社会的立場も年齢もさまざまな4人の男性に、日常生活で遭遇するジェンダーについてどう感じているのか、何を思っているのか、リアルな声を聴く座談会を開催しました。

—オトコは特にとつきにくい？
ジェンダーの話

Dさん 「ジェンダーの話をしましょう」と皆さんに呼びかけて今日の座談会に集まっていたのですが、正直うきうきしましたか？

Cさん しませんね(笑)

Dさん 苦手な習い事のようにだと思います。水泳が苦手な子はスイミングスクールにあまり行きたがらないと思いますが、得意な子は行くのが楽しみですよね。でも、水泳が苦手な子もプールの中で楽しいと思えることを見出せたら、もっと水泳を前向きに捉えられると思うんです。
Bさん そういう意味では苦手意識はありますが、今日の座談会で少しでも前向きに捉えられたらと思います。
そもそも「ジェンダー」とはどういう意味ですか。

Dさん 生物学的な性差、セックスではなくて、「男性はこうあるべき」「女性は

こうあるべき」といった役割、行動、性質など社会的・文化的に形成された性差です。

— オトコが思うセクハラ、オンナが感じるセクハラ

Dさん 職場や学校など自分の周りのコミュニティで女性に気を遣っていることはありますか。

Aさん 下ネタは一切しゃべりません。

Cさん 家庭の事情とか恋愛の事情はあまりこちらからは聞かないようにしています。

Bさん 若い女性社員に「彼氏いるの？」と何気なく聞くこともありですが、抵抗なく話してくれる気がします。世代や関係性などで違うとは思いますが、見た目で聞ける人と聞けない人もいます。

Aさん 自分は年齢に関わらず、よほど仲よくならないと彼氏の有無は聞けません。聞くとすぐに「セクハラ」だと責められますよね。「セクハラ」の定義をインターネットで調べたら、「平均的な女性が不快に感じる」とと検索結果に出てきて、平均的な女性が不快に感じることはそもそも何だろうと疑問を持ちました。

Dさん 感じ方は一人ひとり違うので、「女性」という大きなくくりではなく、この人はこれが嫌だろうからしないというように、個別に考えた方がいいと思います。

Cさん セクハラは一般的に女性が性的被害に遭うものと捉えられがちですが、結局、人が嫌がることはしてはいけないと考えればいいと思います。

— メディアを賑わせたセクハラ事件

Dさん 今年メディアで取りあげられたアイドルや官僚のセクハラ問題についてどう思いますか。僕はセクハラした男性が悪いとは思いますが、自分がしたセクハラの音声をテレビで放送されたらと思うと、正直言って震えました。

Bさん 社会的地位のある人物なので、この一線を越えてはいけないというのはわかっていたと思うのですが、それまでの関係性があつてなのか、何かのきっかけで一線を越えてしまったと思つて見ていました。

Dさん こういった話題で必ず出てくるのが、「被害者にも隙があつた」という論理です。SNSやインターネット上で、セクハラ被害者を誹謗中傷する書き込みがありました。女性が声を上げることがの難しさについて考えましょう。

Bさん 女性が声を上げるのが難しいというのは女性的な発想で、あまりイメージできません。

Dさん 例えば、もし自分が3メートルを超える屈強な老婆に襲われたらどう思いますか。

Aさん 自分よりも体格や力のある存在

ですから、恐怖ですよ。

Dさん 女性にとつては、セクハラはその状況なのですよね。

Aさん アルバイト先の飲み会で、女性に体を触られたときはいい気持ちじゃありませんでした。社員の女性たちがセックス事情について話しているときに、嫌だなと思つても途中で帰りづらいこともありました。でも、セクハラという女性が受けるものだという思い込みがあつて、男性こそ声を上げにくいかもしれません。

Dさん 「セクシユアルハラスメント」の「セクシユアル」というのは女性だけを指していないので、性別に関わらず存在するのですが、男性が受けるセクハラをメディアに載せても理解されず、目に留まりづらい。そもそもセクハラは男性が女性にするものという世の中の思い込みがあるのでしょうか。そして実際に、体力という意味でも権力という意味でも、男性の方がパワーを持っているのが私たちの社会です。だから女性が被害者になりやすいのは事実。でも男性であっても恐怖を想像することができましたよね。男性同士であつてもパワハラはキツイし、声を上げにくい。



Bさん 私は今の会社に勤務して長いので、今思い返せばパワハラだと思うこともありました。上司は部下を一生懸命指導しているという思いだったかもしれない。距離感や関係性が重要だと思いません。

Dさん よく子どもが言われる「相手の嫌がることはやめなさい」「言っていないことと悪いことがある」というのは、大人であっても言われることだとこのセクハラ事件の報道を見て思いました。

Cさん 学生時代に若年層に焦点を当てた研究をしていましたが、大学生へのアンケートで実際にセクハラを受けたことがあるかと問いかけると、「ある」との回答が少なくありませんでした。性別を越えて、人が嫌だと感じたらハラスメントとして成り立つと思います。

—男女平等は男性にとっても ハッピー？

Aさん 女性と2人で出かけると、エスコートしなければならぬという暗黙の了解があって、面倒だと思いつつも調べるということではないですか。

Dさん 僕の後輩がこと細かくデートのシミュレーションをしていたのですが、当日道に迷ってしまって、頼りないと思われたと嘆いていました。

Cさん 同性として共感しますが、女性は男性にそこまで求めていないですよ。

Dさん うちの妻のほうが僕の倍ぐらい収入があるので、僕は仕事を辞めると言われたらいつでも辞められます。自分以外で稼がないで、家で子どもの面倒を見て保育所代を浮かして家事全般をやったほうが、我が家としては生産性が高いのですが、妻に「男なんだから働かないでどうするの」と言われます。そうでもなくともいいと思ってくれたらどんなに楽しく思えます。

Aさん 「女性なんだから」よりも「男性なんだから」と言われることのほうが多い気がします。求められるものの多さを考えると、男性のほうが多い。「女性は化粧が大変。男性は何もしなくていいので楽」と言われますが、男はたくましさ求められます。発達した筋肉に厚い胸板、割れた腹筋、ある程度は強くなければならないというイメージがあるので、日ごとトレーニングしています。

Bさん 私は料理するのが好きです。でも、家族で一緒に住んでいるときは妻がキッチンに入れて



すらくれませんでした。今は単身赴任でひとり暮らしなので、自分のやりたいことができます。料理することは女性の仕事ではないと思えます。

Dさん 僕は男性、女性どちらがやってもいいと思うものの方が多くて、家事は全部機械がやればいいと思っています。家事は女性、仕事は男性という考え方に意味はないと思います。掃除なんて男の仕事じゃないと思うからやらない、でもやってみたら楽しいところもあるのもつたないことになるかもしれないですよ。この人は筋力がなくて荷物が重そうだから荷物を持つてあげる」といった「性差」ではなく、「個人差」で推し測る。男女共同参画と言うととっつきにくいですが、「この人は実はこんなところにいる」という視点を持つと、女性からの支持を得られると僕は思います。

Cさん 男性がどう思うか、女性はどう思うかと考えるのではなく、自分がどう生きたいか、自分がその人とどう人間関係を構築していくのかと考えれば性別は関係ないということですね。「男性だから」「女性だから」という時代じゃない。男女平等のほうが男性にとっても生きやすいということですよ。

今日の話を通して、男女平等は男性にとってもハッピーなんだと少しだけ理解が深まった気がします。

【場面A】

職場の先輩や同僚たちと食事に行ったあなた。箸や取り分け用の皿が自分の席から近かったのでサラダを^{じょりよく}取り分けてみんなに配ったら、「女子力高いね！」と言われました。あなたはどのように感じますか？

こうやって
言えば女の子たちは
喜ぶんだろ？

え？近かったからやっただけなんだけど。女子力とか意味わかんない。

[20代/パート・アルバイト]



【場面B】

職場の先輩や同僚たちと食事に行ったあなた。お会計の際、男性社員に「女の子たちは払わなくていいよ！」と言われました。あなたはどのように感じますか？

女の子たちに
払わせないオレ、
イケてるな。

実は女性はどう感じてくる...
ふとした時のオトコの行動、



それって女子力？と思う。
女子の仕事じゃなくない？って思う。

[20代/正社員]



オトコが良かれと思って女性に言ったりやったりしているコトが、女性にとっては嬉しいとは限りません。

女性のホンネ

そのようなギャップにオトコのみなさんは気づいていますか？

Real intention of woman

やった！女子として認められた。「男がしてもいいのよー。」と言うかも。

[40代/パート・アルバイト]



取り分ける = 女子がやる、じゃないよ。

[50代/公務員]



女性は支払う能力がないと見られているようで嫌だ。上司が払うならば納得。

[20代/契約社員・派遣社員]



女性を対等な人間として扱っていない、失礼なことをされたと感じます。

[20代/正社員]



自分の職場では当たり前のようにになっているが、女性だけ払わないのは差別にあたるのではと感じる。

[20代/正社員]



なぜ？と思う。女性より優位に立ちたい人なんだなと思う。自分も食べたのだから、払わせてほしい。

[30代/その他(団体職員)]



「フェミニズムは自分に関係ない」と思っている男性。君は間違っている。これがテストならば三角も、部分点ももらえないほど、見事に間違っている。でも君を責めるつもりはない。確かに「女性問題」と聞けば男性に関係のないように思えるし、メディアで男性嫌悪全開のフェミニストを見たら怒りさえ覚えるかもしれない。その気持ちがよくわかる。自分もそうだったから。

ただ、フェミニズムの目標は決して男性を虐げることでも、蹴落とすことでもないし、さらに言えばそれは女性だけのためのものじゃないんだ。本当のフェミニズムの目標がわかれば、いかに男性にも関係があるものなのかがわかる。ならその目標とはなんなのか。そう長くない記事だから気長に読んでほしい。

まず「女子力」という言葉を例に見ていこう。「女子力が高い」と言う側は褒めてるつもりだろうし、言われた方も嬉しいかもしれない。ただ、僕にはその言葉が女性への偏見と差別に満ちているようにしか見えない。女子力が高いとされるのは料理が得意な女性、さまざまな気配りの利く女性。どれも別に女と結びつける必要のないものでも、それらを「女子」という言葉と結びつけることで、社会が勝手に決めた「女らしさ」を女性に押し付けている。そう考えると「女子力が高い」という言葉も「女性像の型にはまること」ができてくる君は偉いぞ！なんて身勝手な言葉に聞こえてこないだろうか？さらに服や化粧品に興味がない女性、えいひれや焼酎が好きな「男っぽい」女性はどうなってしまうんだ？ただ、好みや苦手なもののせいで「女子力が低

コラム

男から男へと伝えたいこと

すぎやま だいご
杉山 大悟 さん [ライター、編集者、翻訳者]

1995年、千葉県市川市生まれ。
上智大学在学中にフェミニズムやLGBT問題を取り上げる雑誌BGUにライター、編集者、翻訳者として加わったのち、「男にとつてのフェミニズム」や「一步退いて」など、男性目線からフェミニズム運動の中の男性の役割について書き続けている。
上智大学英語学科誌Anglesで短編小説「Caught Between」や「The Jealous Fox」等が取り上げられている。現在ニューヨーク在住、クリエイティブライティングの修士号取得を目指している。



しい」という言葉って、「女子力」と似てるじゃないか。女子力が高いか低いかのように、背が小さかったり、裁縫が趣味だったり、ピンクが好きだったり、いろいろな人がいる中、「男らしさチェックリスト」がたくさん埋まる男は称えられ、埋まらない男はバカにされる。そんな社会に自由な男であるはずがない。

「男らしい」と称えられる一家の稼ぎ手になったって、代替案である主夫を選択肢に含めることが許されない中、そんなの自由な選択だなんて言えない。実際に「主夫になりたい」と言ってみればわかる。真っ先に飛んでくる「カッコ悪い、気持ち悪い」という言葉。ただ料理や裁縫が好きなら男だって一緒だ。偏見に満ちた男性像に当てはまらないからと言ってその人の生き方を「男らしくない」と一蹴する社会の中で恥じることなく自由で過ごせるはずがない。ならそんな全ての人の自由を奪うような「お前はこういう人でなければならぬ、こう生きなければならぬ」という縛りを美徳化して隠そうとしている「くらしさ」という言葉なんて、ぶち破ってしまえばいいんだ。

それが本当のフェミニズムの目標。いつしか誰かが俺たちの意見を聞くこともなく決めた「くらしさ」を粉々に砕き、太古の考え方らしく恐竜と一緒に地の深くに埋めてやること。料理が好きだろうと外で働くことと専業主婦、主夫になろうと関係ない。性別だって関係ない。みんながみんなのために、凝り固まった固定観念を取っ払う運動。それがフェミニズム。女の、そして男の、君のためのフェミニズム。

ESSAY

男も女も
みんな
フェミニスト
でなきゃ

WE SHOULD ALL BE FEMINISTS
（原題）

男も女もみんな
フェミニストでなきゃ

チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ 著
くぼたのぞみ 訳

1,200円（税別）／河出書房新社

すべての男性におけるジェンダー入門書。「ジェンダーって何？」と首をかき上げる男性たちにもわかりやすく、著者の実体験を交えて解説しています。世界的に有名なファッションブランドがこの本の題目と同名のロゴTシャツを発表したり、スウェーデン政府が16歳のすべての子どもにテキスト全文を配布するなどの広がりを見せ、世界中で話題になった著者のスピーチの邦訳です。

SOCIOLOGY

不自由な男たち

その生きづらさは、どこから来るのか

田中俊之 × 小島慶子



不自由な男たち

——その生きづらさは、
どこから来るのか

小島慶子、田中俊之 著

820円（税別）／祥伝社

タレント・エッセイストの小島慶子さんと男性学の専門家である田中俊之さんが、さまざまなテーマで男性の生きづらさについて議論。男性は無意識のうちに競争社会を生きており、それが男性にとって生きづらいついてしまう原因なのかもしれません。男性が背負っている重たい荷物がフッと軽くなる一冊。

STORY



彼女は頭が悪いから

姫野カオルコ 著

1,750円（税別）／文藝春秋

2016年に実際に起こった「東大生5人による強制わいせつ事件」に着想を得た小説。事件後に非難されたのはなぜか被害者の女子大生でした。内なる日本人の差別意識をえぐり、とことん切なくて胸が苦しくなる「事実を越えた真実」。セクハラが起きる社会構造や仕組み、セクハラ被害者が声をあげることの難しさについて考えさせられます。

GUIDE BOOK



北欧に学ぶ小さな
フェミニストの本

サッサ・ブルーレグレン 著／椋谷玲子 訳

1,500円（税別）／岩崎書店

男女平等の先進国スウェーデンに住む10歳の女の子エッパとフェミニストについて考える一冊。

男女がともに思いやり、だれもが平等に自分らしく生きるとは？フェミニストとは、男女がともにいたわり、思いやり、仲良く生きていくにはどうしたらいいか考え、行動する人のこと。女の子らしく、男の子らしくってなんだろう？

り
ぶ
る
の
ス
ス
メ

このページではセンター職員がおススメする
本・映像作品をご紹介します。
あなたのお気に入りになれたら嬉しいです。

札幌エルプラザ情報センターを知っていますか？

札幌エルプラザ内にある「情報センター」では
男女共同参画を含めた4分野の資料を
閲覧したり借りたりすることができます（ご利用は無料です）。

🌙マークが付いているものは情報センターで
借りることができますので、ぜひ遊びに来て下さいね。

情報センターへのお問い合わせは

011-728-1223

（開館時間 9:00～20:00）
（貸出時間 9:00～19:45）

札幌市男女共同参画センター相談窓口のご案内

札幌市男女共同参画センターでは相談窓口を開設しています。相談料は無料です。各相談では専門の相談員がお話をお伺いし、秘密は固く守ります。相談内容から浮かび上がった問題は、ジェンダーに関わる課題として市民や行政に投げかけ、男女共同参画社会の実現に生かします。

	日 時	相 談 員	相 談 方 法	相 談 内 容
女性のための 総合相談	第1・3 水 10:00~12:00 第2・4 水 18:00~20:00	カウンセラーなど (女性)	面談/電話 (011-728-1225)	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーとの関係や、家庭における性別役割に関わること ・セクシュアリティや恋愛、対人関係に関わること ・職場や地域における性別役割に関わること
女性のための 法律相談	第1・3 金 18:00~20:00	弁護士 (女性)	面談	<ul style="list-style-type: none"> ・DVや離婚、別居に関わること ・職場や地域等でのセクシュアル・ハラスメントなど ・性別を理由とした不当な扱い、嫌がらせなど

予約受付電話:011-728-1255
※完全予約制なので事前にお電話でご予約ください。

編集後記

今号のりぶるは、20代〜30代の男性に読んでほしいと思いい、男性スタッフを中心になって作成しました。担当した自分自身ジェンダーやフェミニズムという「女性の問題」とどこかで思っており、男性が男性に向けて発信することが面白いのではと思ったのです。

座談会は、参加者もスタッフも全て男性だけで行い、記事にしてもいいのか戸惑うくらいリアルな話が出てきました。編集の段階で目にした女性スタッフのなかには、男性たちのホンネにシヨックを受けている人もいて、改めてジェンダーについて男女共に考える必要性を感じました。

今号をとおして男性のみなさんがフェミニズムについて考えることで、男性にも誰にとつても生きやすい社会が実現することを期待します。

りぶるサロン「女性活躍の次のステージへ」 「企業とフェアネス」を開催しました。

「りぶるさつぽろ」の特集テーマをもとに市民の方々で議論を交わす「りぶるサロン」を開催しています。8月27日の第1回では、ジャーナリストの治部れんげさんをお招きし、ジェンダーと経済発展、人権への意識・取り組みについて講演いただいた後、「道内企業とフェアネス」というテーマのもと北海道テレビ放送株式会社の岡仁子さん、アンビシャスファーム株式会社の柏村章夫さん、株式会社北洋銀行の宮内博さんとディスカッションをしていただきました。世界ではフェアネス(公正さ)が当たり前の基準になっているが、日本の企業は遅れていること、そして3名の皆さまの会社ではその次のステージを見据え、フェアネスや持続可能性を実現するための取り組みをされているのが印象的でした。

今後も、りぶるをきっかけとして、さまざまな立場の皆さまと議論を交わす場を設け、相乗効果を生み出していけたらと思います。



発行月：平成30年10月

発行：札幌市男女共同参画センター

【指定管理者：公益財団法人さつぽろ青少年女性活動協会】

facebook： <https://www.facebook.com/pages/札幌市男女共同参画センター/377759212234904>

所在地：〒060-0808

札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ内

電話：(011)728-1255 FAX：(011)728-1229

ホームページ：<http://www.danjo.sl-plaza.jp>



本誌のタイトル「りぶる」は、英語(ripple)で「さざ波」という意味です。男女共同参画の意識がさざ波のように、少しずつ広がって欲しいという想いを込めました。